

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学  
令和7年度PAL短期集中コース「特別枠」募集要項

Ver. 1.05

PAL育成講座の座学科目の中で、好みの科目を一科目毎にピックアップして受講できるPAL短期集中コースの募集を行います。

受講科目開講日の**前日12時までに事務局に申込してください。**

「特別枠」申込：Max.13科目まで受講可

受講資格：PAL育成講座の参加企業（ホームページにて公開）の従業員

受講連絡：E-mailにて事前連絡

オンライン Teams 使用（対面参加をご希望の場合は、事務局にご相談ください。）

[https://ipteca.gifu-u.ac.jp/recurrent/recurrent\\_cat/short/](https://ipteca.gifu-u.ac.jp/recurrent/recurrent_cat/short/)


令和7年12月1日（月）  
岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター

# PAL育成講座 と PAL短期集中コース

PAL育成講座： 座学・演習・討論・実習・発表からなる「製造業」総合講座（合計 96時間）

PAL育成講座の参加企業（ホームページにて公開）の従業員は「特別枠」の利用ができます。

PAL短期集中コース： PAL育成講座の座学から好みの科目を1科目単位で申込・受講できる講座

募集カテゴリー	受講枠	受講料	PALサイバー空間利用		修了証書 単位認定	
			後日録画視聴	展示会参加		
PAL育成講座 参加企業 「特別枠」	 岐阜大学 PAL 育成講座 Brush up Program for professional 【定員 15名】	<b>全科目 (96時間)</b>	25万円/人  岐阜県減免 12.5万円/人	○	○	○ <u>学長名で交付</u> 修了証書 大学院4単位
	<b>PAL短期集中コース</b> PAL育成講座 参加企業の従業員 【人数制限無】	座学13科目まで	<u>無料</u>	○	○	×
一般企業 「一般枠」	<b>PAL短期集中コース</b>  【人数制限無】	座学5科目まで	<u>無料</u>	×	×	×

後日別途案内します

# 1. P A L 育成講座（生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム）の目的と意義

日本の国力を担う中堅・中小「製造業」は、21世紀の業容変革をリードできる優秀な若手育成が求められています。そこで、東海地方とりわけ岐阜県製造業の、30歳前後 原則大卒以上の若手リーダー、将来の幹部候補を対象に、以下を養成すべく本プログラムを開講します。

- ① 俯瞰的な視野で実務を推進できる能力      ② 将来構想を立案できる能力

## 2. プログラムの概要と科目構成

座学・討論・実習を通じた総合的・実践的な学びにより、第4次産業革命時代のリーダーとしての能力を養います。自由選択科目と必須科目を含む総時間数は96時間、必須科目は66.5時間です。各年度の後期開講（10月～3月）します。

**好みの座学科目を一科目毎にピックアップして受講**

**座学：** 経営、コスト・原価、品質、設計思想、D X（コンピュータ、IoT、AI）

**多方向討論と実習：** 航空生産技術をモチーフにして、工程設計を実習

**多方向討論と課題発表：** 自分の未来産業ビジョンを形成して発表

## 3. 社会人リカレントプログラムとしての認定や指定

岐阜大学 履修証明プログラム、文科省職業実践力育成プログラム（B P）認定  
厚労省教育訓練給付制度指定(予定)

### 履修証明プログラムとは

平成 19 年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。大学等において、通常の学生を対象とする学位プログラムに加え、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できることになりました。各大学等において、社会人等の多様なニーズに応じた様々な分野の学習機会が積極的に提供されることが期待されています。

## 4. 短期集中コースの受講方法

### オンラインはTeamsを使用します。

対面参加をご希望の場合は人数制限がありますので、事務局にご相談ください。

【特別枠】の方は、録画視聴も可能ですが、後日別途募集します（12月下旬～1月予定）。録画視聴の場合は、講師とのやり取りはできません。

## 5. 受講料

受講料は無料です。

## 6. 受講申請手続

(1)希望の受講科目開講日の前日12時まで

(2)受講申込方法： HPにある受講申込Formsに必要事項を記入して申し込んでください。

PAL育成講座の「特別枠」参加企業に勤務していることを明示してください。

(3)事務局

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター

生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム事務局

E-mail: [ipteca-recurrent@t.gifu-u.ac.jp](mailto:ipteca-recurrent@t.gifu-u.ac.jp)

(4)受付結果

本人宛にE-mailで連絡します。

## 7. 個人情報の取扱い

提出された申請書等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、審査システムに登録されますが、申請書等及び登録された個人情報は、岐阜大学工学部、航空宇宙生産技術開発センターが責任を持って管理します。受講資格審査終了後は、この個人情報を次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、第三者に開示することはありません。①合格者について、受講手続に必要なデータを使用する場合、②受講者について、カリキュラム登録、成績管理等、本人が受講するうえで必要な事務にデータを使用する場合、③受講者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合（ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合、個人識別ができない状態で行います）

## 8. 問い合わせ先

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター  
生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム事務局  
E-mail: [ipteca-recurrent@t.gifu-u.ac.jp](mailto:ipteca-recurrent@t.gifu-u.ac.jp)

## 9. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応

令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う本学の対応について、下記をご覧ください。

[令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う本学の対応について | 重要なお知らせ | 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 \(gifu-u.ac.jp\)](#)

## 令和7年度 P A L 短期集中コース 科目表 Ver. 1.05

科目名	授業の形式	日程	講師氏名（現在の所属）【実務家としてのバックボーン形成企業】	時間数（h）	狙い
録画視聴 経営の基礎Ⅱ	オンライン	録画視聴期間 12月19日(金) 10:30～ 12月26日(金) 16:30	石原秀昭（センター特任教授）【元 デンソー】	1.5	<b>PAL育成講座の10月開講授業の録画視聴となります。</b> 業界（航空・自動車・電気）を俯瞰しつつ、リーダとして体得してほしい経営の勘所を学ぶ。 殊に、企業経営で良く活用される「3C分析」や「SWOT分析」のやり方を事例を通じて学ぶ。
録画視聴 製造業DX：コンピュータ	オンライン	録画視聴期間 12月19日(金) 10:30～ 12月26日(金) 16:30	石原秀昭（センター特任教授）【元 デンソー】	1.5	<b>PAL育成講座の10月開講授業の録画視聴となります。</b> 製造業を変革するDXとして、コンピュータの基礎から応用について学ぶ。 殊に、古典コンピュータ、人工知能、量子コンピュータの違いとは？、製造業の未来予測、サイバー空間活用などを学ぶ。
DX演習	オンライン	12月11日(木) 10:30-14:00	三宅 英治（エヌテック）【エヌテック】	2.5	<b>短期集中コースで参加し易い様に、内容分割しました。必要コマのみ参加でも結構ですが、全コマ参加するとDX一式が学べます。</b> DXの勘所についてデモと演習で学ぶ。RPA：Robotic Process Automation、生成AIを題材とする。 <b>1コマ目（10:30-11:30）：モノづくり企業が進めるDXの紹介（Power Appsなどでアプリを内製する方法、業務効率化例）</b> <b>2コマ目（12:30-14:00）：生成AIの実践応用（Copilotと専用エージェントの活用方法、業務効率化例）</b>
リーン生産方式概論	オンライン	12月11日(木) 14:00-16:30	小川俊貴（センターラボ長）【元 東海理化】	2.5	トヨタ生産方式に代表される大量生産方式を、「リーン生産方式概論」として勘所を学ぶ。 製造現場で導入されているカラクリ改善について、ミニチュア・キットを使って学ぶ。
リーンオートメーション	オンライン	12月18日(木) 10:30-18:00	原田 浩史（J&J）【元 デンソー】 横瀬 健心（デンソー）【デンソー】	1.5	<b>短期集中コースで参加し易い様に、内容分割しました。必要コマのみ参加でも結構ですが、全コマ参加すると自動化一式が学べます。</b> 「トヨタ生産方式」のエッセンスにデンソー流の自動化の視点を取り入れた「リーンオートメーション（作業分析を行ったうえでムダを徹底的に取り除くこと＋自動化に潜むワナを回避すること）」について勘所を学ぶ。簡単な演習を含む。 <b>1コマ目（10:30-11:30）：Lean Automation概論</b> <b>2コマ目（12:30-14:30）：自動化前の合理化（前さばき、ムダ取り）</b> <b>3コマ目（14:45-16:15）：シンプルな設備構想作り（費用対効果の最大化）</b> <b>4コマ目（16:30-18:00）：設備立ち上げ後の維持改善（OEE、IoT、TPM）</b>
コストの基礎	オンライン	12月25日(木) 10:30-12:00	皆川一二（ワンツテクノ）【元 デンソー】	1.5	製造業におけるコストと原価の基礎について体系的に学ぶ。
製造業DX：人工知能	オンライン	12月25日(木) 13:00-18:00	小野田 崇（青山学院大学理工学部教授） 林 良和（センター特任准教授）	4.5	前編：製造業を変革するDXとして、製造における人工知能（製造業における機械学習）を学ぶ。 後編：製造業を変革するDXとして、製造における人工知能（深層学習の基礎、深層学習を使った応用）を学ぶ。
経営の基礎Ⅰ	オンライン	1月15日(木) 10:30-12:00	伊藤義人（ビジネス・ローンチアウト）【元 デンソー】	2.5	経営とは何か、その本質について学ぶ。
製造業DX：IoT	オンライン	1月22日(木) 10:30-12:00	松下 光次郎（岐阜大学工学部准教授）	1.5	製造業を変革するDXとして、製造におけるIoT、Cyber-Physical Systems、Digital Twinについて体系的に学ぶ。
航空機装備品の生産技術	オンライン	1月22日(木) 13:00-16:15	久保 和彦（ナブテスコ）【ナブテスコ】 福井 淳（ナブテスコ）【ナブテスコ】	3	航空機の装備品製造における現状の課題や将来展開について学ぶ。 フライトコントロールシステムの基盤である油圧アクチュエータについて学ぶ。
航空機開発の流れ	オンライン	1月29日(木) 10:30-12:00	高橋 晃作（川崎重工業）【川崎重工業】	1.5	航空機開発の全容（設計、生産、品質保証）を概観する。
航空機生産概論	オンライン	1月29日(木) 13:00-18:00	酒井 昭仁（センター特任教授）【川崎重工業】	4.5	生産技術者が知っておくべき常識を学ぶ。 AS9100と品質保証、生産計画と管理、部品加工概要、複合材料特論、検査技術
製品の設計思想	オンライン	2月5日(木) 13:00-16:15	川添博光（センター非常勤講師）【元 豊田中央研究所、名大、鳥取大】	3	移動手段が異なる「航空機」と「自動車」を例にとり、空気力学の観点から、その形状に至る必然性、設計思想の違いを学ぶ。

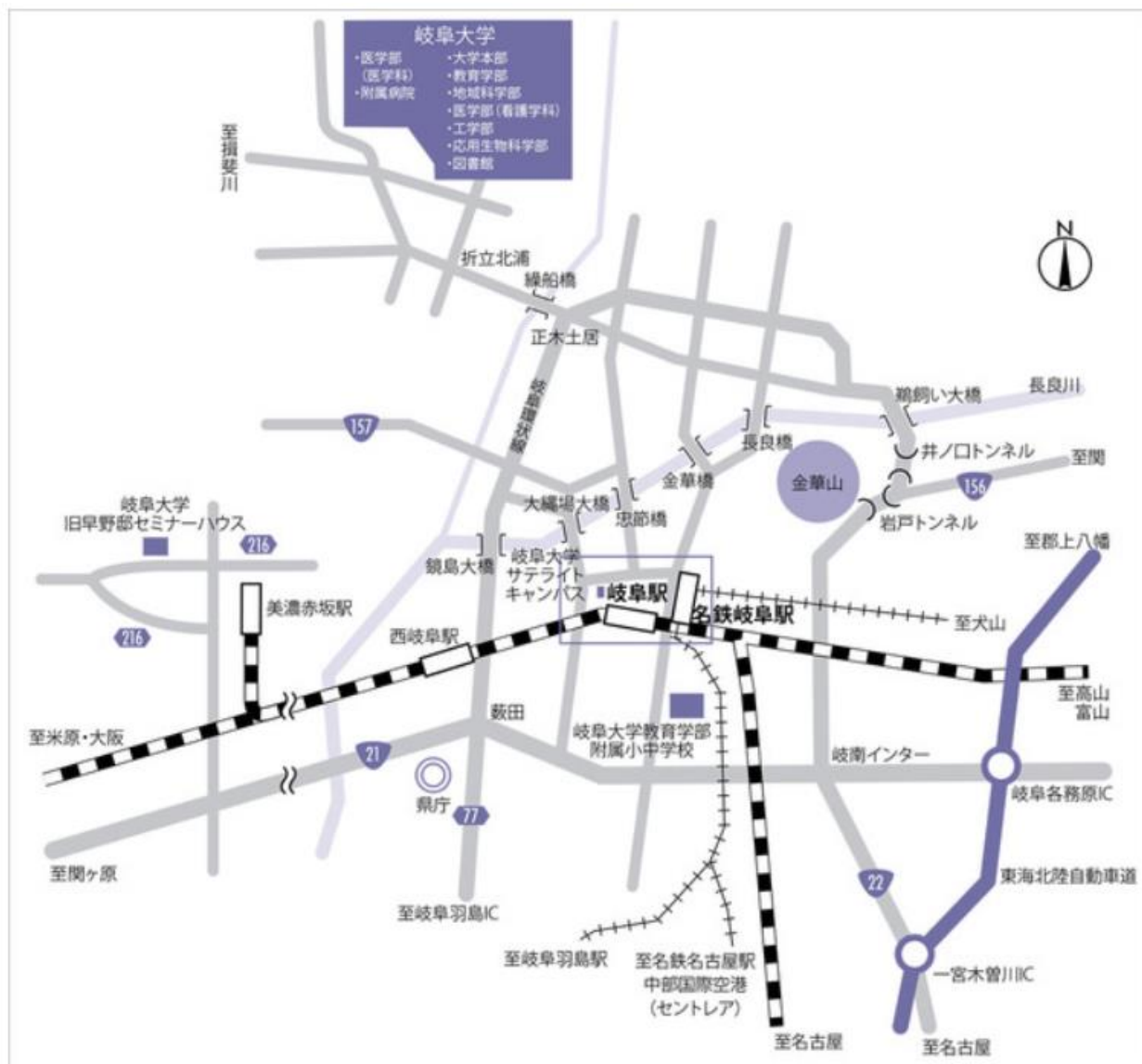
（注1）オンラインはTeamsを使用します。対面参加をご希望の場合は、事務局にご相談ください。

（注2）講師の都合により日程が変更になる場合があります。

（注3）授業日のライブ参加を推奨しますが、特別枠企業社員向けに、申し込んだ全授業の録画視聴方法を来年別途案内いたします。

# 会場アクセス（対面参加の場合）

交通アクセス | 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 ([gifu-u.ac.jp](http://gifu-u.ac.jp))





# 会場アクセス（対面参加の場合）

